

めざす児童生徒像

- 主体的に学校生活に取り組む子の育成
- 下学年に憧れをもたれる上学年の育成

※児童生徒達成結果-教員結果・保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
				教員	児童生徒	保護者			
学校重点項目 (学校で設定)	主体性の育成 上学年の自覚	①②③⑤の児童の割合の平均が85%以上	① 一人一人がめあてをもち、そのめあて達成をめざし、学習や学校行事に進んで取り組んでいる。						
			② 下学年にあこがれをもたれる行動をしている。						
			③ 上学年にあこがれをもち、自分も上学年のようになりたいと思っている。(1~5年)						
			④ 自分にはよいところがあると思っている。(自己肯定感)						
			⑤ 自分の行動が人の役に立っていると信じている。(自己有用感)						
			集計						

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
				教員	児童生徒	保護者			
重点項目 石川県共通	業務改善意識 働き方や業務の改善	①②③の割合の平均が90%以上	① 80時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。						
			② 校務分掌や業務の整理・統合が図られており、業務の平準化がなされている。						
			③ 協力・協働体制で組織的に業務が行われている。						
			④ 勤務時間意識を持ってタイムマネジメントに心がけている。(子どもと触れ合う時間・教						
			⑤ 仕事にやりがいや達成感を感じている。						
			集計						

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策	
				教員	児童生徒	保護者				
小松市共通重点項目	学校研究	①②③の平均が90%以上	① 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている。							
			② 研究主題に迫る目指す授業像(児童生徒像)を共有し、研究の視点に沿った授業研究会を計画的に行っている。							
			③ 教職員一人一人が授業研究に主体的に取り組み、自校の授業改善に向けた取組を共有・実践している。							
			集計							
			集計							
	指導力の向上	授業	①③④の平均が85%以上	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。						
				② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。 (発表力)						
				③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。 (記述力)						
				④ 児童生徒は、自分の考えを書く機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して書いている。						
				⑤ 児童生徒は、友達と話し合うとき、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて(聞いて)、自分の考えを持つことができている。						
				⑥ 児童生徒は、振り返る活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。						
				集計						
学力の定着	学力調査	①②の平均が90%以上	① 学力の重点目標や具体的な取り組みは全教職員で共通理解し、目標を達成できるよう取り組みは徹底して行っている。							
			② 学校力向上ロードマップにおける各自の役割を教職員が理解し、定期的な検証がなされている。							
			③ 近隣等の小中学校と学力調査の結果や分析、成果や課題を共有している。(小中連携)							
			集計							
家庭学習		①の平均が80%以上 ③の平均が90%以上	① 自分で計画を立てて勉強している(3年以上)							
			② 児童生徒の家庭学習の評価・指導を行っている							
			③ 家庭学習時間のめやすを達成できている							
			集計							